

# 営農振興基金等による白ネギの産地拡大

鈴鹿農協(三重県)

## 取組の背景

- 鈴鹿農協管内は県内でも有数の茶・植木の産地であるが、近年は需要の減少や販売価格低迷のため、専業農家の経営縮小や撤退による生産面積の減少で農地の遊休化が問題となっていた。
- このような中で、茶・植木の農繁期と重ならず、生産者の経営を支える複合品目の一つとして、安定的な需要が見込まれる白ネギに着目し、作付の推進に取り組み始めた。
- 平成24年には植木生産者を中心に白ネギ部会を設立し、白ネギを農協の戦略振興作物に位置付け、生産拡大の取組を強化した。



## 取組の概要

- 平成27年に営農振興基金(農協独自資金)を創設し、新規就農者や規模拡大を目指す意欲的な生産者に対して、機械・設備の購入費用の助成を実施。
- 営農振興基金を通じた支援や生産部会を核とした新規生産者の育成・確保、圃場巡回指導、栽培研修会により、白ネギの品質向上と安定生産に取り組む。
- また、生産コストの低減を図るため、定植機播種機のレンタルも実施。



## 成果

項目	27年度	28年度	29年度
白ネギ生産面積	7.8 ha	11.2 ha	12.1 ha
〃 出荷量	149.4ト	171.8ト	224.1ト
〃 販売高	4,704万円	5,998万円	7,937万円
〃 生産者数	32名	34名	38名

平成28年度に特定野菜等供給産地育成価格差補助事業の指定野菜として認定

項目	27年度	28年度	29年度
営農振興基金	509万円(6件)	744万円(8件)	98万円(1件)
作業機械レンタル	22件	21件	21件